

平成 25 年度 全国健康保険協会群馬支部 第 1 回健康づくり推進協議会の概要報告

開 催 日	平成 25 年 12 月 10 日 火曜日 1 時 30 分から 3 時 40 分頃まで
議 題	<ol style="list-style-type: none"> <li>1 協会けんぽ概要</li> <li>2 群馬支部事業概要</li> <li>3 群馬支部保健事業概要</li> <li>4 群馬支部その他の健康づくり事業</li> <li>5 群馬支部健康づくり推進計画〔案〕</li> </ol>
議 事 概 要 (主な意見等)	<p>群馬支部については、健康づくり推進協議会を今回よりスタートさせました。 議長を選出し、また副議長を議長の指名で選出を行いました。 各議題を事務局より説明を行い、各委員よりご意見等を頂きながら会議を進めさせていただきました。 会議の概要につきましては、下記のとおりです。</p> <p><b>江藏支部長より挨拶</b></p> <p>・12 月に入り、一層、寒さ厳しい日々を迎えておりますが、皆様方におかれましては、ご健勝のことと存じます。</p> <p>日頃は健康保険事業に格別なるご理解とご協力に衷心よりお礼を申し上げます。</p> <p>平成 20 年 10 月にスタートした全国健康保険協会の保健事業は、社会保険庁及び財団法人社会保険健康事業団の事業を継承して実施し、特定健康診査、特定保健指導の円滑な実施に努めてきました。</p> <p>平成 21 年 10 月に健康づくり推進協議会の基準が策定されました。主旨は、全国各支部における保健事業を円滑、かつ、効果的に実施する為、委員皆様方からの提言及び助言を頂き、各支部の特性を踏まえた保健事業を展開する事を目的としております。</p> <p>群馬支部健康づくり推進協議会の設置に当たっては各方面の団体からの代表者の推薦を頂き、心強く思っている次第です。同時に保健事業が円滑に推進出来るものと確信しております。</p> <p>厚生労働省においても、本年 9 月には、田村厚生労働大臣を本部長として、国民の健康寿命の延伸を掲げ、国民の健康寿命の延伸を図る事で、健やかで、心豊かに生活でき、活力ある社会を実現すると共に、医療費の削減を目標としております。</p> <p>レセプトデータらによる、データヘルスの一角として、地域の医療費分析をビジュアル化し、更に事業所カルテにおいては、コラボヘルスなる事業所との協力、連携をして、社員、従業員の健康を重視したデータを提供し、トップセールスとして活用しております。</p> <p>また、群馬支部独自の優良事業所表彰を実施しているところです。これは生活習慣病予防健診、検診率 90%以上で、かつ、特定保健指導を積極的に受け入れして頂いている事業所を、保健師 14 名及び支部保健師ローテーション係が推薦し、更に審査委員会の決定を受けて、今年も 25,000 社の中より 7 事業所を選定し、11 月中に事業所に訪問し、表彰状を授与</p>

させて頂き、大変好評を得ました事をご報告申し上げます。

今後の保健事業の運営におきましては、行政、医療機関、産業の皆様のお力添えがなくして成り立たないと思います。

この協議会での委員皆様の忌憚のないご意見を頂ければ幸いです。

何分、限られた時間なので、よろしくお願い申し上げます。

#### **佐藤議長より挨拶**

・先ほど支部長さんより健康寿命の延伸というお話がありましたが、今、日本は平均寿命が男性 79 歳、女性が 86 歳ということになります。健康寿命となりますと、10 年下になります。その 10 年間で、介護が必要な状態。自立していない状態とされています。少しでも元気で病気がなく、最後まで天寿を全うできるという、そういうところを目指して、誰も生きたいと思っています。そのためには働き盛りの方たちの健康づくりが非常に重要だと思っています。そう言っても、今は経済が厳しい状況の中で、経済活動を努力しながら、かつ、労働者の健康を考えていく部分はとても難しいことで、色々なところで課題だと言われていると認識しています。

そういう中で、今回、群馬県支部の方々、このような会議を作っていただいて、この支部の活動が益々、充実するように、そして支部の活動だけでは、解決できない色々な問題について、色々な機関の方たち、知恵を出し合い、色々な事業を協力し合い、手を携えて、労働者の健康を守っていく、健康寿命を延ばしていくところで、より良い活動になっていく。そのためにこの会議が設置されたということ、非常に外の立場ですけれどもうれしく思い、感謝申し上げたいと思います。

議長という役はあまり経験がなく、私にとっても重責ですけれども、是非、ここにお集まりの委員の皆様にご協力をいただいて、それぞれの知恵ですとか、情報ですとか、できることを出し合っていたいただきながら、この会が初期の目的のために良い活動になるように進めていければと思っていますので、今後ともどうぞよろしくお願いいたします。

#### **浅見副議長より挨拶**

・少しでもお役にたてるようにやらせていただきたいと思いますので、どうぞよろしくお願い致します。

#### **議題 1、2 を資料に基づき、事務局より説明を行いました。**

##### **【主な意見】**

〔保健医療関係者〕

・12 頁、保険料率の格差について、平成 14 年度に急になっていますが、どういう理由によるものなのか。

〔事務局〕

・平成 15 年度から、ボーナスにも保険料を掛けるようになりました。そうするとボーナスが多い方が高い状況になります。その時から差は開いた形になっています。

例えば、中小企業ですと、賞与がでて 1 カ月か 0.5 カ月分。となりますと年間の 12 カ

月分のお給料プラス、0.5 又は 1 カ月分の 13 カ月分で一年間の医療費を賄わなければいけない。大企業になりますと、賞与が半期で 3 カ月分出ます。年間で 6 カ月分賞与が出ますとになりますと、月々のお給料をプラスすると 18 カ月分になります。それで医療費を賄うのであれば当然、月々の保険料の割合は安くなります。それで格差は出てくるということです。

### **議題 3 を資料に基づき、事務局より説明を行いました。**

#### **【主な意見】**

〔学識経験者〕

・被扶養者の方の受診券を事業所経由ではなく、直接送付されるようになったということで、本当に大事な工夫だなと思います。それによって被扶養者の健診の受診状況はどうか。

〔事務局〕

・年度の途中ですので、はっきりした数字は示されていませんが、対前年度比は数パーセント伸びている統計は出ています。そもそも受診券を受け取れない方が多々いらしたと統計が出ています。約 3 割、手元になく、再発行された方が非常に多かったという統計が出ています。今年度は再交付が少ないということです。皆様のところにあるということで、受診が現在も伸びていますが、今後も引き続き年度末に向けて、受診率が上がると予想できます。

### **議題 4 を資料に基づき、事務局より説明を行いました。**

#### **【主な意見】**

〔学識経験者〕

・「セルフチェック」について、加入者は誰でもアクセスできるのでしょうか。

〔事務局〕

・はい。元々のシステムは、実際の群馬支部の加入者の方を対象としていましたので、保険証の中に書いてある、保険者番号のデータが必要となっています。ただ、今の期間ですけれど、お試ということで、加入者以外の方にも、こういった仕組みがあるということをお知らせするために、利用ができるようになっています。

〔学識経験者〕

・今後もコンテンツを増やしていくということでしょうか。

〔事務局〕

・はい。

〔学識経験者〕

・例えば、本日も行政な方がお見えになっていますが、行政の機関ですとかなので、色々な健康づくりの有意義な情報もあるのではないのでしょうか。そういうところとリンクする。共同で、健康に関する他の情報にもリンクということもできるのでしょうか。

〔事務局〕

・今後、情報提供していただければ、例えば市や県のそういった相談窓口であるとか、今でも一部そういう所にリンクさせていただいております。

心の病の方とか、割合どこに相談して良いか分からないケースがございますので、そういった相談先など詳しくいきついた結果で、こういうところで相談できますよという考え方をしているところですけども、より充実できればと考えています。

〔学識経験者〕

・こういった会の中で、もっとこんな情報とリンクできる情報があれば、事務局の方にお伝えいただければと思います。

### 議題5を資料に基づき、事務局より説明を行いました。

【主な意見】

〔学識経験者〕

・歩数を調査するという事で、具体的にどのようなことをお考えになっているか教えてください。

〔事務局〕

・具体的なところは計画中ですが、現在、支部保健師が使っている保健指導の際の問診票がございます。そこに運動の項目がございます。そこに1日の歩行時間、ないし歩数という欄がございます。保健指導対象者につきましては、それを徹底して聴取することで、5年間データを積み重ねていきたいと考えています。

一般の加入者の方も調査を行っていきたくと思っています。こちらについては、協力していただける事業所を、これから考えていくのですけれど、支部長の説明で優良事業所表彰の説明があったと思いますが、今まで協力していただいている事業所に同じ様な質問用紙を作りまして、計画的にある程度の調査を行っていかうと考えています。

〔保健医療関係者〕

・52頁、26年度以降の主な取り組みで、群馬支部の医療費を全国平均より3%低く抑えると書いてありますが、こちらの資料でいくと群馬県は既に3%以上、平均より低いと思いますが、3%低く抑えるというのは具体的に何か、こういうことをしようというものがあるかどうか。あれば教えてください。

〔事務局〕

・目標の設定をどの程度にしたら良いか、事務局としても悩ました。現状が2.7%の状況なので、消極的と思われるかもしれませんが、3%のところは全国平均より低く抑える考えで載せていただきました。

・リスク保有率でいくと真っ赤なのです。3年後は、平均より上がるのではないかという予測がでていたものですから、そういうことになったと思います。

**【まとめ】**

最後に、今後の事業に繋がる意味も含めて、各委員よりそれぞれの立場でこういう事を行っている、また、こういう事ならば協力できるということなどをふまえ挨拶を一言ずついただき、第1回健康づくり推進協議会を終了としました。

**特記事項**

- ・次回、平成26年6月頃実施予定。